

# 笑顔のために



富士宮市議会2月定例会・4月臨時会  
年4回発行



令和2年6月1日発行

議会だより

No.417

## 新型コロナウイルス

## 感染症対策予算可決



新型コロナウイルス医療従事者の皆さん  
ありがとうございます

### 目次

- 新型コロナウイルス感染症対策… 2、3
- 特集 “郷土史博物館” …… 4、5
- 2月定例会の議案審議 …… 6
- 知ってほしい議決内容 …… 7
- 常任委員会 …… 8
- 予算審査特別委員会 …… 9
- 一般質問 (20人) …… 10~19
- 総括質疑/政務活動費・議長交際費… 20~23
- 市議会視聴実績/編集後記 …… 24

医療従事者の皆さんに感謝の気持ちを込めて (4月臨時会)

3/31

## 要望書の提出と常任委員会の取組

富士宮市内で初めて感染患者が確認された3月31日、議会は、総務文教、環境厚生、産業都市の各常任委員会からの要望を基に、「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」をまとめ、市（市長）に提出しました。要望書の内容は以下のとおりです。

（抜粋）

- 1 広く情報収集に努め、中小企業並びに小規模事業所等への支援策また新たな生活弱者が生まれないよう、効果ある対策を早期に取り組むこと
- 2 休校により子どもの学習に影響が出ないよう対策を講じるとともに、新学期の始まりにあたり、感染症の予防対策について十分配慮をすること
- 3 富士宮市立病院及び富士医療圏の医療体制の現状と対応について、市民への適切な情報提供に努めること

4/24

## 市の対策事業（案）の内容

富士宮市内における感染患者拡大の状況や、4月16日に全国に発令された緊急事態宣言などを踏まえ、市は以下の対策を打ち立てました。

（抜粋）（ ）内の金額は予算額です。

- 1 感染等に係る対策
  - ① PCR 検査体制の新たな構築（約 1500 万円）
  - ② 国民健康保険「傷病手当金」の追加（1000 万円）
- 2 経済対策
  - ① 個人事業主・小規模事業者・中小企業者に対する利子補給（700 万円）
  - ② 小規模事業者等に対する事業継続応援金（2億 2700 万円）
  - ③ 収束後にプレミアム付き商品券の販売（3億円）
- 3 課題対策
  - ① WEB 会議システム等検証委託業務（約 100 万円）

4/24

## 市（市長）へ要望書を提出

市の対策事業（案）の内容を受け、議会として市内へ県外者の流入を防ぎ、感染の拡大を防止するため、以下の内容を要望しました。

- 1 4月29日から5月6日まで、宿泊業、飲食店及び観光業等の事業者へ休業要請をし、協力事業者には、協力金 30 万円を支払うことを求める
- 2 既に自主的に休業をしている事業者も給付の対象とすること



▲市長に要望書を提出しました

4/25

市は、集団感染を防止するため3つの「密」の条件が揃い感染拡大が危惧される、飲食店、宿泊施設、観光レジャー施設等に対し、一定期間休業を要請し協力いただいた店舗に協力金を支給する「富士宮市新型コロナウイルス感染拡大防止協力金事業」を対策事業（案）に追加し、実施することを打ち出しました。

**【事業内容】** 5月1日から6日までの間、休業要請に応じた飲食店、宿泊施設、観光レジャー施設等を対象に、1店舗あたり 30 万円、2店舗以上運営している場合は 50 万円を協力金として支給する。

**富士宮市新型コロナウイルス感染拡大防止協力金事業（予算額：2億 4000 万円）**

4月30日開催  
新型コロナウイルス感染症対策関係予算などを  
審議しました。

議案番号	件名	議決結果
報第7号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報告済
報第8号	富士宮市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	承認
報第9号	富士宮市税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	//
報第10号	富士宮市都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	//
報第11号	富士宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	//
報第12号	富士宮市介護保険条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	//
議第38号	富士宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決全会一致
議第39号	富士宮市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について	//
議第40号	富士宮市救急医療センター条例の一部を改正する条例制定について	//
議第41号	令和2年度富士宮市一般会計補正予算（第1号）	//
議第42号	令和2年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	//

左ページの各種対策（富士宮市新型コロナウイルス感染拡大防止協力金事業を含む。）  
を中心とする補正予算を全会一致で可決しました。

### 【佐野 寿夫 議長のコメント】

過去に例のない感染拡大を続ける新型コロナウイルス感染症対策において、富士宮市議会として市長へ緊急で要望書の提出をこれまで3回行いました。特に、4月24日の市の対策事業の報告を受けた中で、休業協力金事業が盛り込まれていない現状に対して、事業予算化を求める緊急要望を行い、早急に対応していただきました。

また、5月1日には児童扶養手当を加算して給付を行うこと等の要望を行い、これに対しても5月臨時会の議案に反映されています。

さらに、迅速な対応として新型コロナウイルス感染症対策の財源確保を図るため、市議会議員の月額報酬を6月から12月までの間10%、政務活動費50%、委員会視察旅費50%の削減を行い、総額で1,041万円の経費削減の取組を議員全会一致で決定できたことは、市議会議員全員の思いの表れであると感じています。

今後も当局と一体となって、コロナウイルス感染症収束に向け市民の皆様のご期待に沿えるよう頑張ります。

POINT

## 予算審査特別委員会って？

⇒次年度予算（今回は令和2年度予算）案の審議について、本会議以外場でより詳しく審査・調査するための特別の委員会。審議は主に、予算審査特別委員会委員が市に対して質疑する方法で行われます。

3月12日、13日に行われた予算審査特別委員会では、令和2年度富士宮市一般会計予算などについて審議が行われました。

その中で（仮称）郷土史博物館検討事業予算（基本構想策定委託料など計572万円）の内容※について特に深い審議が行われました。今回は主な質疑応答内容を抜粋し皆様にお伝えします。

※富士宮市民の歴史、民俗等を次世代に継承し、市民の教養の向上に寄与するため、資料の収集・保管・保全及び展示、調査研究、来館者の学習等に資する活動を行う拠点としての（仮称）富士宮市立郷土史博物館。

議  
会

Q（仮称）郷土史博物館の基本方針、基本構想、基本計画の定義をどのように考えていますか？

Q 建設候補地は、白糸自然公園と富士山さくらの園以外にどこか考えていますか？

Q 新築案以外の、併設案、改築案、既存施設活用案として、具体的にどのような施設を想定していますか？

Q 市役所の中で候補地や方針を決めるべきではないでしょうか？専門業者には候補地や規模は選べないと思いますがいかがでしょうか？

Q 富士宮市の歴史・文化の継承にとどまらず、観光施設としての価値を創造できませんか？

Q 市と専門家間で十分な検討ができていない中で、完成年度が決まったスケジュールありきの進め方に問題があるのではないのでしょうか？

このような質疑の結果、委員（議員）は大きく2つの考え方に分かれました。



（仮称）郷土史博物館検討事業予算（572万円）は、令和2年度予算では白紙にすべし。社会状況や市全体事業の優先順位などを総合的に考え、検討事業を急ぐ必要はない。しっかり議論を重ね皆の理解を得ていきましょう。



（仮称）郷土史博物館検討事業予算（572万円）を含む、令和2年度予算に賛成する。ただし、検討事業を進めるに当たり、幅広く意見を取り入れること、また、社会情勢に柔軟に対応し建設ありきの事業にしないこと（附帯決議）。

回答



## 豆知識！

予算審査特別委員会は、富士宮市議会議員全 21 名で構成されており、議員は、予算審査特別委員会時は、“議員”ではなく“委員”と呼ばれます。

**A** 基本方針…どのような博物館を作るのか概念的なもの  
基本構想…類似事例の調査、施設内容規模の検討など  
基本計画…建設費用がどれだけかかり、何を作るのか  
上記要素の中で、一部構想と計画は重なる部分があると考えています。



**A** 白糸自然公園も富士さくらの園も建設候補地に入っています。その他にも候補地はたくさんありますが、基本構想の中で決めていきたいです。



市

**A** 市民文化会館改築時の博物館併設案、新築する児童館との併設案、また、学校の空き教室や芝川会館の活用、大鹿窪遺跡近くでの建設など、いくつかの案を基本構想の中で検討していきたいです。



**A** 計画の中では、市の職員でできないところを専門業者に委託していきたいです。  
専門業者の知恵を借りて、皆さんに判断材料を示していきたいです。



**A** 観光ありきではなく、資産・史跡を紹介することが、結果的に観光に結びつくことが最も良いと考えています。  
施設の本来的役割を見失わず、かつ慎重に色々な可能性を考えながら進めていきたいです。

**A** 市民の願いである郷土史に対し、きちんと真実を伝えるものを作るべきと考えています。  
郷土史博物館については、富士山世界遺産登録 10 周年の年 (2023 年) に、歴史的記念として完成を目指したいが、それは希望であり 10 周年に合わせた完成にこだわりません。

賛成者少数により、この考え方は委員会としては否決されました。しかし、一定数の委員（議員）がこういった考えを持っていることは、今後の検討事業を進める上で、十分に影響すると考えられます。

賛成者多数により、この考え方が委員会として可決されました。今後も議会は、(仮称) 郷土史博物館検討事業について注視していきます。

**ポイント！** 全委員（議員）が、富士宮市の郷土史を後世に伝える事業の重要性を認識している点では一致していましたが、検討事業の進め方に対しては、大きく 2 つの考え方に分かれてきました。

議案番号	件名	議決結果
報 第 1 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報 告 済
報 第 2 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
報 第 3 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
報 第 4 号	富士宮市土地開発公社の令和2年度事業計画の報告について	//
報 第 5 号	公益財団法人富士宮市振興公社の令和2年度事業計画の報告について	//
報 第 6 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
選 第 1 号	教育委員会の委員任命に関し同意を求めることについて	同 意
議 第 1 号	富士宮市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決全会一致
議 第 2 号	富士宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決賛成多数
議 第 3 号	富士宮市宮住宅条例の一部を改正する条例制定について	原案可決全会一致
議 第 4 号	富士宮市職員の特殊勤務手当に関する条例等の一部を改正する条例制定について	//
議 第 5 号	富士宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	//
議 第 6 号	富士宮市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 7 号	富士宮市監査委員に関する条例等の一部を改正する条例制定について	//
議 第 8 号	富士宮市富丘交流センター条例制定について	//
議 第 9 号	富士宮市立富士根南中学校他2校空調設備整備工事請負契約の変更について	//
議 第 10 号	富士宮市立北山小学校他3校空調設備整備工事請負契約の変更について	//
議 第 11 号	富士宮市立上野中学校他2校空調設備整備工事請負契約の変更について	//
議 第 12 号	富士宮市立上井出小学校他3校空調設備整備工事請負契約の変更について	//
議 第 13 号	富士宮市立北山中学校他2校空調設備整備工事請負契約の変更について	//
議 第 14 号	財産の無償譲渡について	//
議 第 15 号	市道路線の廃止について	//
議 第 16 号	市道路線の認定について	//
議 第 17 号	令和元年度富士宮市一般会計補正予算(第4号)	//
議 第 18 号	令和元年度富士宮市北山財産区特別会計補正予算(第1号)	//
議 第 19 号	令和元年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	//
議 第 20 号	令和元年度富士宮市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	//
議 第 21 号	令和元年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	//
議 第 22 号	令和元年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	//
議 第 23 号	令和元年度富士宮市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	//
議 第 24 号	令和元年度富士宮市水道事業会計補正予算(第3号)	//
議 第 25 号	令和元年度富士宮市病院事業会計補正予算(第3号)	//
議 第 26 号	令和2年度富士宮市一般会計予算	原案可決賛成多数
議 第 27 号	令和2年度富士宮市北山財産区特別会計予算	原案可決全会一致
議 第 28 号	令和2年度富士宮市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決賛成多数
議 第 29 号	令和2年度富士宮市上井出区財産区特別会計予算	原案可決全会一致
議 第 30 号	令和2年度富士宮市猪之頭区財産区特別会計予算	//
議 第 31 号	令和2年度富士宮市根原区財産区特別会計予算	//
議 第 32 号	令和2年度富士宮市介護保険事業特別会計予算	//
議 第 33 号	令和2年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計予算	//
議 第 34 号	令和2年度富士宮市水道事業会計予算	//
議 第 35 号	令和2年度富士宮市下水道事業会計予算	//
議 第 36 号	令和2年度富士宮市病院事業会計予算	//
議 第 37 号	令和元年度富士宮市一般会計補正予算(第5号)	//
議 決 第 1 号	富士宮市議会傍聴規則の一部を改正する規則制定について	//
議 決 第 2 号	近藤千鶴議員の(仮称)富士宮市立郷土史博物館に対する言動等について陳謝を求める決議	原案可決賛成多数

※報＝市からの報告 選＝人権擁護委員候補者以外の人事案件 議＝条例・予算・契約などの議案 議決＝議会からの議案の略  
(2月定例会からの通し番号となります。) ※詳しくは、市議会事務局(電話22-1191)までお問い合わせください。

議会の視点はこうです！

【議第 25 号】令和元年度富士宮市病院事業会計補正予算（第 3 号）

市立病院の経営の今



一般会計から病院事業会計に5億円の繰り出しがされることとなりました。審議の際、  
 財政部から今回の繰り出し金増額の理由について以下の通り説明がありました。  
 「企業会計なので独立採算が大前提。とはいえ、地方公営企業なのでその性質上、不採算部門など  
 も担わなければならない。総務省でここまでの範囲ならば繰り出しても一定の独立性は担保される  
 といった考えが示されている。その考えの中で、病院の財務状況、資金状況から当初予算では9億  
 円の繰り出しを位置付けていたが、直近の財務状況等を見る中で今回の5億円の繰り出しを判断  
 した。」とのことでした。

富士宮市立病院は平成 24 年度まで黒字経営でした。現金資金も多い時で 20 億円を超えていま  
 したが、経営の悪化に伴い現金資金を取り崩すような形で経営上の不足分を充ててきたことにより、  
 ここにきて不足してきました。平成 26 年の整形外科縮小による医業収益の減少は、経営悪化の  
 大きな要因の一つに挙げられます。

議員からは、「経営改善のためのコンサルを検討すべき」「職員もコスト意識を持つべき」といった  
 意見が出されてはいたものの、全国的に公立病院を取り巻く環境は厳しく、経営状況もほとんどの  
 公立病院が赤字です。須藤市長も議会答弁の中で、病院の経営改善に向けてしっかりと取り組んで  
 いくとのことでしたが、経営が劇的に黒字に転じることは非常に困難であることも示し、議会  
 には温かい目で見守ってほしいと結びました。

市民の地域医療の要である富士宮市立病院の大変厳しい状況は、2 月定例会において補正予算の  
 審議、一般質問、総括質疑、予算審査特別委員会の全てで議論が白熱したことから、富士宮市立  
 病院の現状が富士宮市政において大きな課題であることを改めて認識した 2 月定例会でした。

【2 月定例会で賛否が分かれた議案】

○は賛成。×は反対。

議員名（議席番号順）	渡 辺 佳 正	若 林 志 津 子	近 藤 千 鶴	辻 村 岳 瑠	細 沢 覚	望 月 則 男	齋 藤 和 文	佐 野 寿 夫	植 松 健 一	野 本 貴 之	中 村 憲 一	深 澤 竜 介	佐 野 孜	佐 野 和 彦	遠 藤 英 明	稲 葉 晃 司	諏 訪 部 孝 敏	鈴 木 弘	村 瀬 旬	小 松 快 造	松 永 孝 男	
議第 2 号 富士宮市国民健康保険 税条例の一部を改正す る条例制定について	×	×	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 26 号 令和 2 年度富士宮市 一般会計予算	○	○	×	○	○	×	○	※	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	
議第 28 号 令和 2 年度富士宮市 国民健康保険事業 特別会計予算	×	×	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第 2 号 近藤千鶴議員の（仮称） 富士宮市立郷土史博物館 に対する言動等について 陳謝を求める決議	×	○	—	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は表決に加わりません

⇒議案などを本会議以外の場で、より詳しく審査・調査するための組織。富士宮市議会には、3つの常任委員会が組織されており、全て議員のみで構成されています。

### 総務文教委員会

所管事務調査

- 富士宮市富丘交流センター条例制定について
- 市内小・中学校の就学指定校の変更と現状について

#### 【松永 孝男 委員長のコメント】

富丘交流センターは、令和3年4月の供用開始を目指して工事が進められています。今回の委員会では、使用規則や使用料など運用のための条例を審議しました。富丘公民館より駐車場も広くなり、証明書の発行や図書館の機能もあり、とても便利になります。完成が楽しみです。

小・中学校の就学指定校の変更と現状については、昨今部活等の理由で指定校区以外の学校に通う子どもが増えています。小規模校・大規模校それぞれにメリットがあります。それぞれの特徴を生かして地域の皆様と一緒に子どもたちを育てていきましょう。

### 環境厚生委員会

所管事務調査

- 富士宮市立病院の事業報告について
- 富士宮市が目指す地域循環共生圏について（政策課題）

#### 【中村 憲一 委員長のコメント】

市立病院は、市民の皆様にとって重要な救急医療、高度医療等の不採算部門を担っているため、総務省の繰出基準で一般会計からの繰出金が認められており、従来はその額を9億円としてきました。しかし、キャッシュフロー（収入から支出を差し引いて手元に残る資金の流れのこと。）が大変厳しい状況にあるため、令和元年度より5億円増額し14億円となり、その内容が総務省基準内であることを確認しました。今後の収支改善策として、外部の専門家から経営指導を受けるとのことです。

また、富士宮市地域循環共生圏推進協議会の進捗状況を調査し、事業提案に応じた7つの部会の活動内容の説明を受け、当市の環境課題解決には、“水”に関連した再生可能エネルギーの推進が重要であることを確認しました。

### 産業都市委員会

所管事務調査

- 滞在型観光について（政策課題）

#### 【植松 健一 委員長のコメント】

政策課題である「滞在型観光について」の勉強会を行いました。内容として観光宿泊施設の現状の把握を行うため大規模なキャンプ場である、ふもとっぱらを訪問し誘客状況や来場者の動向について説明を受けました。現状として、様々なメディアの影響により今キャンプブームであり、年間を通して週末だけでなく平日でも利用者が多く、また週末は利用枠を設けて予約制にしている程の混みようであるとのことでした。

その後意見交換を行い、現状と課題や今後の展開について話し合いました。多くの委員から滞在型観光として自然豊かな富士山の麓でのキャンプを一時のブームに止めずもっと発展させていくべきとの意見が出されました。





## 予算審査特別委員会って？ part.2

⇒次年度予算案について審議する場を“予算審査特別委員会”と言います。この委員会は議員全員で構成され、今回は令和2年度予算案について2日間集中的に審査が行われました。

QRコードを読み取り、令和2年度予算審査特別委員会を選択すると一般質問が視聴できます。



## 予算審査特別委員会

### 【中村 憲一 委員長のコメント】

2月3日に令和2年度富士宮市一般会計予算他10予算が議案として送付されてから38日後、3月12日、13日に当委員会は開催されましたが、その間の新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、日常生活が一変した中での審査となりました。各予算に関連した新型コロナウイルス感染症に係る質疑も活発になされ、関心が高い（仮称）郷土史博物館検討事業については、全委員の協力により規律のある激論が交わされました。

議決が原案に対する修正動議と原案賛成附帯決議に二分したのも、全委員による熱心な審査の結果です。



▲中村憲一 予算審査特別委員会委員長

### 会派が注目する令和2年度に予算化された事業

日本共産党 議員団	首都圏シティセールス推進事業 合計 769万9千円	令和元年度、今までふるさと納税してくれた4万5千人にメールアンケート実施。返礼品のモノからコトへと市の魅力を発信し、訪れ定住へつなげようとする発想が評価できる。今後の事業効果を期待したい。
政経会	E-BIKE（電動アシスト自転車） 利用促進委託料 合計 800万円	朝霧高原を中心に貸し出し台数50台であり、高低差はあるが、E-BIKEの機能を活かし、多くの観光客の方々に富士宮市の自然に触れていただきたい。また、将来は市中心部にも導入し、訪れた人たちの市街地回遊及び活性化が大いに期待できる。
富岳会	E-BIKE（電動アシスト自転車） 利用促進委託料 合計 800万円	朝霧高原を中心とした北部地域10箇所にバイクステーションを設け、E-BIKE、50台を配備して北部地域の観光客の回遊を図る。体験型観光の人气が高まる中、富士山の麓を巡るサイクリングは北部観光の目玉になるものと期待できる。
令和	妊娠出産子育てシェアサポート 事業委託料 合計 300万円	従来、その他の事業委託料も含めて合計600万円で随意契約されていたものが分割され、当事業のみで300万円でプロポーザルにより事業者選定されることになった。
公明会	市民相談事業、都市交流事業、 保育所運営事業及び世界遺産推 進事業 合計 35万円	多言語自動翻訳機については市民部2台、保健福祉部3台、産業振興部5台、合計10台導入する。観光客・市在住外国人・災害時の使用、さらには主要外国語だけではなく、年に数人しか来ない少数言語の方にも通訳可能。多文化共生の視点からも重要であると考え。
蒼天	病院事業会計 （収益的収入・資本的収入）へ の繰出金 合計 14億円	令和元年度に続き令和2年度もこの金額になった。令和元年度は地域包括ケア病棟の開設にかかるコストが大きく影響したが、令和2年度はどのようにしてこの状況を改善していくのか富士宮市立病院の取組に注目したい。
芙蓉	景観形成推進事業 合計 650万円	本事業として無電柱化推進計画策定委託料が計上された。防災・安全、景観形成、観光振興などの観点から電柱・電線を地下埋設していくための計画である。富士山を中心とする自然環境・自然景観を大切にする本市として、念願の無電柱化に向けた第一歩である。



QRコードを読み取り、令和2年2月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



うえまつ けんいち  
**植松 健一** 議員  
(芙蓉)

## 人口減少と高齢化による地域コミュニティの運営の状況について

**問** 地域コミュニティの運営が難しくなってきた状況、自治会加入率の低下についての対策はあるか。

**部長** 自治会によっては家庭の事情を考慮して役員や会費の一部を免除などの対応や、自治会事業のスリム化で役員の負担の軽減に取り組んでいる自治会もある。地域の実情に応じた柔軟な運営を行っていただくことも効果的な手法である。区長会の協力のもと啓発活動について検討し、加入促進に努めていく。

## 市街地の空洞化、集落地域の過疎化について

**問** 市街地周辺部の宅地化により空洞化や過疎化が進んでいるがどのように考えているか。

**部長** 空き家の増加が原因の一つであると認識し



なかむら けんいち  
**中村 憲一** 議員  
(令和)

## 共同親権から考える面会交流支援と子どもの権利を保護する条例について

**問** 多くの欧米先進国で導入されている離婚後の共同親権に対する認識はいかがか。

**部長** 単独親権であるがゆえの弊害も認識しているが、共同親権が一概に子どもの権利を守る最善の方法とは明確に判断できない。今後、単独親権、共同親権の選択制の導入等の制度改正が行われた際には、子どもの権利が侵害されることのないよう適時適切に取り組む。

**問** 虐待防止、ひとり親家庭の貧困対策の観点から、面会交流の意義をどのように考えるか。子どもと親の交流ノート（養育手帳）の配布や面会交流コーディネートにより、面会交流を支援することを提案するがいかがか。

**部長** 虐待に関しては、面会交流によらず早期発

ている。核家族化、高齢一人暮らしの世帯の増加が空き家の発生する要因として強いと思う。新たな住宅を取得する場合、建替を勧めたり、新たな住宅、宅地を増やさないというのも一つの方法と考え研究していきたい。

## 立地適正化計画、公共施設再編計画について

**問** 県内でも地方自治体の立地適正化計画の策定が進んでいる。当市も現在行っている公共施設再編計画をベースに立地適正化計画の策定を進め、国の補助メニューや支援策を積極的に利用すべきではないか。

**部長** 本市の都市構造は富士宮駅を中心として市役所や市立病院、大規模商業施設などの都市機能がコンパクトに位置し、また市街化調整区域には独自性のある集落が点在しており、幹線道路によって市街地とつながっていて国が示す持続可能なまちづくりが既に進められていると考える。計画の策定は、市役所や市立病院などの公共施設の建替など補助制度を活用する場合には検討する必要があると考えている。

見、早期対応が大原則。面会交流による養育費支払いの促進効果は認識している。コーディネートは高度な専門性を持った人材が必要なため、直ちに行えないが手帳については検討する。

**問** 子どもの意見表明権を尊重した子どもの権利条例の制定を提案するがいかがか。

**部長** 子どもも大人と同様の人権主体であることは、児童憲章においても児童の権利に関する条約においても共通の理念であり、当市では、従来からこれらの精神を尊重し、子育てに関わる政策を推進している。改めて、理念条例として子どもの権利条例の制定は考えていない。

## 将棋を活用したまちづくりとタイトル戦誘致について

**問** ふるさと納税返礼品での富士駒の効果は。

**部長** 市外の方が富士駒を通じて当市に興味を持つきっかけとなり、平成28年度以降、累計で199件、5745万4千円の寄付を受けている。

**問** 叡王戦の誘致を検討できないか。

**部長** 早速検討に入る。富士駒の会と連携し、将棋のまちとして認知されるように取り組む。

⇒議員が市の行財政全般について執行状況や将来に対する考え方などを問い、適切に進んでいるかをチェックすることです。また、議員は政策提言等を行うこともできます。



えんどう ひであき  
**遠藤 英明** 議員  
(蒼天)

### 統一的な基準による地方公会計の整備促進について

**問** 統一基準による地方公会計に移行した背景とその効果について伺う。

**部長** 公会計の整備には複数の方式が併存していた。この是正と、ストック情報、コスト情報の可視化が可能となる効果が生ずる。

**問** 新公会計は現行の現金主義を補完し、資産・債務改革を生ずるが、この効果の目的は。

**部長** 長期的な視点から更新、長寿命化対策などを計画的に行うことで財政運営の効率化、適正化に役立つものとされている。

**問** 新公会計制度における発生主義は財政健全化判断基準の将来負担比率に取り入れられているが、将来負担やPFI事業等将来の動向について伺う。

**部長** 本市の将来負担比率は適正な数値を維持していて、他市と比較しても良好であるが、民間の資金、経営能力、技術等を活用して行うPFI事業等の予定はない。

**問** 資産老朽化比率の公共施設等マネジメントへの活用及び未収債権の徴収体制の強化にどのような方策を持って臨むのか。

**部長** 行政コスト計算書等による施設別のセグメント分析を行い、施設の維持保全を図りマネジメント整備、構築の在り方の検討を行う。

### 県道158号線、市道大塚弓沢線交差点（通称よろづや交差点）の改良工事について

**問** 令和元年12月の地元説明会の内容と今後の計画推進について伺う。

**部長** 関係者の協力の必要性和境界未確定の現地測量を再度実施したいことなどの説明を行った。今後は交差点改良については、市道の改良も必要となるため市としても県に協力していく。



つじむら たける  
**辻村 岳瑠** 議員  
(政経会)

### 市民の命を守る情報提供（同報無線）について

**問** 市民が自らの命を守る行動へ促すには、災害時の心理（正常性バイアス）に働きかける必要性がある。市の取り組みについて伺う。

**部長** 正常性バイアスとは、危険を危険でないと捉えてしまう心理。その対策として、令和元年の台風19号では市長自らが同報無線で呼びかけることで災害時の心理に働きかけた。

### 防災教育について

**問** 『率先避難者たれ』（釜石の奇跡）の防災教育を当市においても参考にできないか伺う。

**教育長** 現在市では、「自分の命は自分で守る」ことを原則とした防災教育を実施。K・Y・T※と呼ばれる危険予知・予測訓練では、自然災害だけでなく、子どもの身の回りで起こり得る様々な危険に対する状況に応じた行動の取り方を学んでい

る。学校安全計画に従って学べる取組を各校で作成している。

### 情報弱者への防災情報提供について

**問** LINE（ライン）などのSNSを導入し動画配信できる仕組みを提案する。このことは手話で情報を伝える事にもつながるが市の考えを伺う。

**部長** 聴覚障がい者の方には、現在はメールサービスという対応を行っている。LINEでの情報提供は、お友だち登録していただいて、皆さんの中で情報共有していただけるのは非常に有効な方法だと思う。しかし、市としてはIDの問題や個人情報等もあるため、十分調査をして少しずつ取り入れていきたいと考えている。

### 情報提供の要望

**要望** 防災システムを研究している方の著書には「情報伝達の方法で人の行動は変えられる」と主張されている。市民の命を守る行動に促す情報発信をお願いしたい。

※K・Y・Tとは、危険予知トレーニングのこと。

# 一般質問



さいとう かずふみ  
**齋藤 和文** 議員  
(公明会)

## ウイルス対策と予防接種について

**問** 新型コロナウイルスの現状（世界と日本）と感染防止対策について。

**部長** 2月14日段階では世界の感染者約6.5万人、死者約1400人、国内感染者30人、死者1人であり、いまだ拡大が続いている状況。国内では指定感染症及び検疫感染症に指定し、医療体制や検疫体制を整備し感染防止に努めている。

**問** 発症時の行政及び企業の対策について。

**部長** 社内で発症もしくは感染の疑いのある者が発生した場合、県疾病対策課または厚生労働省の相談ダイヤルに連絡、もしくは医療機関に事前連絡しての受診となる。

**問** 基本的予防策については。

**部長** 通常の季節性感染症と同じ対策、手洗い・うがい・咳エチケットに尽きると考える。

**問** 肺炎球菌ワクチン接種の予防接種割合と経過措置の延長と再周知について。

**部長** 定期接種と任意接種併せて、約40%の状況である。平成30年度に終了予定だった経過措置については5年間延長され、再通知についても2月に令和元年度対象者に通知を発送した。

**問** 小児がん※の患者数と再予防接種について。

**部長** 患者数は統計上、1万人に1人発症しており、富士宮市0 - 14歳児人口1.6万人に当てはめると1.6人と想定される。小児がんの治療によって治療前に受けた予防接種が効果を失う。再予防接種を個人で行う場合、全額自費となり、全て再接種した場合約20万円必要となる。このことから市単独事業として実施の方向で検討する。令和2年度の中で庁内的にも検討し、現場としては実施の方向で進めていく。

※小児がんとは、乳幼児から15歳までにかかる悪性腫瘍の総称。種類としては、白血病・脳腫瘍・脊髄腫瘍・神経芽細胞腫・リンパ腫などが該当する。



ふかさわ りゅうすけ  
**深澤 竜介** 議員  
(令和)

## 富士医療圏の医療体制について

**問** 救急医療の問題点として、搬送先の病院が決まるまでの時間がかかる、いわゆる630問題（搬送先が決まるまで30分以上かかる。6か所以上電話する。）があるが、現状はどうか。

**部長** 富士医療圏は静岡県内で一番悪い。

**問** 富士医療圏の今後を考える上で、病院間の連携は避けて通れないと考えるが、いかがか。

**市長** 富士宮市立病院と富士市立中央病院との統合は考えていない、共立蒲原総合病院は存続させる。

## 富士宮市立病院の経営形態について

**問** 市立病院の経営形態はどういう形か。

**部長** 地方公営企業法の一部適用で、開設者も経営者も市長である。

**問** 経営形態として、地方公営企業法の全部適

用、独立行政法人化の長所短所はどうか。

**部長** 全部適用の場合、意思決定の迅速化が図られ、独自の給与体系を定められるが、市立病院は地方公共団体の一部であることに変わりはなく、他部署職員との均衡を考えると、実施にあたり困難な場合も多い。地方独立行政法人は、法人の代表を市長が任命し、理事長が経営責任者となり、人事・組織・予算等々の権限を有する。経営の裁量の自由度が高く、効率的な事業運営が期待できるが、職員の身分が公務員でなくなるため、十分な検討が必要である。

## 朝霧に計画されているバイオマスプラント

**問** 乳牛2千頭分の牛糞尿が投入されるようだが、それ以外のものの投入はあるのか。

**部長** 発電効率を上げるため、副資材の投入を予定している。

**問** 牛糞尿以外のものが投入されるとなると、産業廃棄物処理施設なのか。

**部長** 県の廃棄物リサイクル課が担当しており、明確な判断がまだ出ていない。



QRコードを読み取り、令和2年2月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



さの かずひこ  
**佐野 和彦** 議員  
(富岳会)

## 感染症から身を守る

**問** 市内で新型の感染症が発見された場合、国、県の指示はどのようになるのか、また、市の対応はどのようになるのか伺う。

**部長** 感染症の規模にもよるが、国、県には政府対策本部、県対策本部が設置され、さらに国の緊急事態宣言が行われると、市は新型インフルエンザ等特別措置法と市条例に基づき、対策本部を設置し、新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき国や県が発する情報の収集と発信、予防・蔓延防止の周知、医療体制の整備、外出自粛要請、人が集まる施設の利用、催し物の制限要請等の対応について、国や県と連携して動く。また、市内で感染症が発見された場合、あらゆる噂が飛び交い、市民生活、経済活動等が混乱する可能性があるため、マスクやホームページ等の利用可能な

すべての手段で、市民に正確な情報を発信することが重要と考える。

**問** 感染症のワクチンが無い場合、重篤になった患者の手当てをどのようにするのか。

**部長** 現在、新型コロナウイルスのワクチンはない。いずれ治験を含め開発されるとしても、1年以上かかる。現時点では、酸素の吸入、人工呼吸器の装着、利尿薬、強心薬の投与、栄養の補給、抗生物質、抗炎症薬の投与、輸血、人工透析等の合併症の治療といった重症肺炎に対する呼吸の管理などを隔離された病室で行い自然回復を待つことが最善の処置であると考えている。

**病院長** 2月現在、当院が指定医療機関でないため感染者を診療できないが、感染対策チームで診療体制のマニュアル作りを進めている。

**要望** お茶でのうがいと手洗いの推奨で、市内の小中学校の生徒約1万人中、18人しか感染症（インフルエンザ）にかかっていない。新型の感染症に効くか分からないが、お茶を使つてのデータをとってほしい。



こんどう ちづる  
**近藤 千鶴** 議員  
(令和)

## 誰でも輝く富士宮市について

**問** 富士宮市の審議会の女性割合は25.5%だが、30%にする取組はあるか。

**部長** 女性比率の低い所管課に理由書や改善計画書の提出を求めた結果、改善が見込まれた。さらに取組強化の依頼をし、子ども連れのお母さんたちも参加できるよう、会議の運営や託児ボランティアの利用など配慮を呼びかける。

**問** 「女性が輝くまちづくり推進室」の名称は今の多様性の時代にそぐわないのではないかと。

**市長** この名称は自分がつけたが、女性地位向上が遅れているかなと思うが、この名称を大事に大事に継続して、そのままにしておきたい。

**要望** 私は時代にそぐわないと思う。またLGBTの方もいるので、名称変更に向向きに前向きに明るくやってほしい。

## 会計年度任用職員制度※1について

**問** この制度での相談体制は。

**部長** 所属課や人事課が相談の窓口となり、職員の不安を取り除くようにしたい。

**問** 経験年数や専門性の扱いは。

**部長** 経験を考慮した給与の額を設定し、経験や専門性を考慮するよう制度設計を行う。

**問** 非常勤のフルタイム※2を考えていないか。

**部長** 現在は、フルタイム任用は考えていない。

**意見** 他の市町村と比べて、フルタイムに一人もなれないのは総務省の忠告に違反しているのではないかと思う。

保育士や調理師または相談業務など命に向き合っている非常勤の職員はせめてフルタイムになるべきだ。これからは私も非常勤職員の皆様に寄り添っていきたい。

※1…会計年度任用職員制度とは、今までの非常勤職員に対しての新しい制度。

※2…フルタイムとは、勤務時間が常勤の職員と同一である非常勤職員のこと。

# 一般質問



ほそざわ  
**細沢**

さとる  
**覚** 議員  
(政経会)

## 富士宮市歌奨励の進捗状況について

**問** 9月定例会で一般質問した富士宮市歌奨励のその後の進捗状況について伺う。

**教育長** 校長会において富士宮市歌を唄う機会があれば、積極的に取り入れるようお願いした。また、教育課程を見直すなどし、子どもたちが富士宮市の一人として市歌を唄えるように呼び掛けていきたいと考える。

## 大規模校等通学区域弾力化について

**問** 富士宮市大規模校等通学区域弾力化に関する基準の施行について伺う。

**教育長** 学校教育法施行令第8条の規定に基づき、大規模校等の児童数緩和、普通教室数不足解消のため、平成19年度から隣接する教育委員会の指定した学校への就学を希望する者に対する指定校変更を認めてきた。将来の児童数の推計や小

学校の教室数確保等に注視し、選択可能校の縮小・廃止等について検討していく。

## 富士宮市の防災、防犯について

**問** 市内防犯カメラ設置状況を伺う。

**部長** 市内54か所の公共施設に204台の防犯カメラを設置。主な設置場所は、一部の小学校、福祉医療施設、水道施設、世界遺産富士山の構成資産、体育施設、駅の駐輪場等。条例に基づき防犯カメラ設置協力を求めており官民一体となった、安心・安全なまちづくりを目指している。

**問** 三園平区の防災対策について。道路が狭く大型消防車が入ることができない。せめて防火水槽、消火栓の増加等検討がされているか伺う。

**部長** 今後道路拡幅や水道管敷設替え工事等を実施の際には、あわせて整備できるよう検討。

## 富士宮スポーツ公園の施設について

**問** 障がい者の健康保持、増進のためにパラスポーツ施設建設、用具充実を考えているか伺う。

**部長** 市民レクリエーションスポーツ祭で、知名度の高い、ポッチャを紹介し普及に努める。



まつなが たかお  
**松永 孝男** 議員  
(富岳会)

## 北部地域の通勤渋滞の緩和と危険な道路の整備について

**問** 渋滞緩和策として、北部地域の会社に時差出勤を依頼できないか。

**部長** 北部地域の企業に現状を説明し、時差出勤等の渋滞緩和策を働きかけていく。

**問** 国道139号線の登山道入口交差点の右折車線の延長。又は、右折矢印の時間延長はできないか。

**部長** 右折車線は現在120mありこれ以上の延長は計画していない。又、右折用矢印は令和元年8月に5秒延長しており、これ以上の延長は上下線の渋滞につながるので困難。

**問** 国道469号線の山宮北交差点に右折用矢印信号を増設できないか。

**部長** 令和元年8月に国道469号線の青信号の時間を延長して対応した。現状では矢印信号設置の

判断までには至っていない。

## 富士山の噴火被害に対するハザードマップの報道について

**問** 令和元年12月28日の静岡新聞に富士山噴火の溶岩流は市街地まで2～3時間で到達する可能性があるとの報道があり、北部地域の住民は心配しているが市の見解は。

**市長** あのニュースはあくまで仮想の話であり、最悪の状況を想定しての注意喚起と考えている。人命第一で冷静に検討して富士宮市の防災マップに反映していく。



▲ 柚野地区から撮影された富士山と田園風景



QRコードを読み取り、令和2年2月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



もちづき のりお  
**望月 則男** 議員  
(富岳会)

## 商店街空き店舗対策事業について

**問** 採択された店舗の現在の継続営業率について伺う。

**部長** この制度を利用して開店した店舗数は合計で25店舗、現在は20店舗が営業している。また、閉店した5店舗については、閉店の理由は経営不振のためと伺っている。

**問** 大型商業施設に頼りきる商業行動に対する危険性について。

**部長** 以前は地域の商店がコミュニティや情報交換の場所になっていたが、最近では近所の子どもを見ても、どこのお子さんなのか全く分からないほど、地域のつながりが希薄になっているように思う。消費者の消費行動の変化は、中心市街地にぎわいがなくなるだけでなく、高齢者の日常生活や地域コミュニティにも影響を及ぼすと思われ

る。空き店舗対策事業を進める上で、魅力ある商店づくりを支援し、商店街を活性化させることで、こだわりの個人店、地域伝統の味を継承していただけるようなまちづくりを目指していく。

## 東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けての当市の活動について

**問** パブリックビューイングの実施はいかがか提案する。

**部長** パブリックビューイングは非営利団体のみ実施が可能で、大会スポンサーの商業的権利への配慮や安全確保など細かな規約があることから、庁舎市民ホールなどで実施する予定。

**副市長** どのやり方がいいのか、また教育部を中心になるが、庁内プロジェクトチームの中で御提案いただくことも含めて、可能かどうかも含めて検討してみたいと思っている。



の も と たかゆき  
**野本 貴之** 議員  
(芙蓉)

## 障がいを持つ方々への積極的な就労支援を！

**問** 市内の民間企業における障害者雇用率と達成企業の割合を伺う。

**部長** 富士宮公共職業安定所（ハローワーク）がまとめた令和元年6月1日時点の調査では、障害者雇用率は2.38%、達成企業の割合は67.9%。この達成率は県内トップの数字。

**問** 就労前の子どもを持つ保護者から子どもの就学時の悩みや不安に寄り添う相談支援の充実を求める声があるが、取り組みを伺う。

**部長** 相談件数は令和元年12月末で596件。障がいのある子どもを持つ保護者の方の不安は、情報が少ない、情報をどこで得ることができるのか分からない点にある。今後関係機関等との連携強化を図り、保護者への情報提供の仕方について検討していく。

**問** 自立支援協議会の中に産業振興部も入れて企業や事業所連携を提案するが、どうか。

**部長** ハローワークとの関連性も含め、産業振興部と福祉部門と協調していく必要があるため、今後前向きに検討していきたい。

**問** 第6期障がい者計画の中に優良事業所の表彰があるが、就労継続した従業員個人の表彰制度を提案するが、どうか。

**部長** 御提案については次期の計画を策定していく中で検討させていただきたい。

**問** 計画の数値目標を国の指針に沿って考えるのではなく、障がい者全体のうち就労や福祉的就労者は1割にも満たないという認識を持ち、1割を2割にするとか野心的な考えを伺いたい。

**部長** なかなかお答えづらいが、国も重度障がい者の方の就労援助策を考えているような情報もあり、今後使えるものは取り入れて、市の状況に何が合っているのか考えた中で次期の新しい計画の数値目標というものを考えていきたい。

**その他の質問：雑がみの回収の取組について**



むらせ  
村瀬

ひとし  
旬 議員  
(政経会)

## 保育園、幼稚園の保育料、教育費無料化に伴い、給食費の無償支給について

**問** 若い世代の移住・定住を考えているの方々にとって、富士宮市は子どもたちに厚い支援政策を打ち出しているとの思いから、真剣に考える機会を与える事ができると思う。その良い例が明石市である。そこで他の自治体で検討・実行されているところがあれば、お聞かせ願いたい。

**部長** 静岡県東部の20市町及び政令市である静岡市、浜松市の中で無償全額支給している市町は小山町と西伊豆町の2町であり、それ以外は無償化を実施する予定はないとの事である。

**市長** 制度上の基本的な考え方は在宅で子育てをする場合であっても生じる経費である。しかし保護者に負担をいただいているのは食材費のみであって、人件費・設備の減価償却費・光熱費はい

ただいていない。無償化した場合、たとえ半額でも年間7千万円の負担が継続的にかかることから、現在、実施する考えはない。

## 小・中学校の統廃合することについて

**問** この件について、他市に比べ富士宮市としては手付かずになっているが、小・中学校の統廃合の考えはあるか。

**教育長** 栗倉分校について、現在4名、その中で3名が4年生。令和2年度は新しく2名が入学予定であり、令和3年度は推計では1名が入学の予定である。その後、新入生の入学がないという状態であり、時期的に考える時期ではないかと思う。地域と保護者の思いもあるので、その辺を十分に話をさせていただいて、富士根北小学校への編入がまとまれば、今後、動いていきたい。

**市長** 今後栗倉分校については、0名になる前、また、急に1名になった場合を考えるのは難しいので、教育長の答弁の通りやっていく。



こまつ かいぞう  
小松 快造 議員  
(富岳会)

## SDGsの活用について

**問** 小中学校教育の中でSDGsはどのように取り入れられているのか。

**教育長** 各校におけるSDGsの取り入れ方は様々。学校図書館にSDGsコーナーを設置している学校や、企画戦略課の出前講座を活用し勉強している学校などがある。

**問** ダボス会議において、政治経済会のリーダーの参加により1250兆円の経済効果と、3億8千万人の雇用が創出されると推計されたが、富士宮市において経済効果と雇用はみられたか。

**部長** 富士宮市の経済効果や雇用に関するデータはない。現在策定中の第5次富士宮市総合計画後期基本計画の中で、SDGsの視点を取り入れていく予定。このことによって、市民、企業、行政

が連携した新たなイノベーションや雇用創出につなげたい。

**問** 「SDGs日本モデル」を発表したが富士宮市内企業の動向はいかがか。

**部長** 市では、国等の施策や先進企業の動向を注視しながら、今後SDGsの達成目標に沿って企業に理念等を浸透させていく。

**問** 目標11「住み続けられるまちづくり」、地域によってニーズは違うが居住される方々への意識付けが必要と考えるのがいかがか。

**部長** 令和元年度策定を予定している都市計画マスタープランの作成にあたり、各地域においてアンケート調査の実施、まちづくり協議会を開催するなど、地域の皆様からまちづくりに対する様々な意見をいただいた。当然のことながら、街中や集落によって意見の違いはあったが、これらの意見を踏まえ地域の皆様と一緒に各地域のまちづくりの方針を取りまとめた。今後は、この方針に基づき具体的なまちづくりの事業を行っていく。市民の皆様にも積極的に参加いただきたい。





QRコードを読み取り、令和2年2月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



すわべ たかとし  
**諏訪部 孝敏** 議員  
(政経会)

## ネット依存の実態と関連事項について

**問** スマートフォン、携帯電話を正しく利用する能力を養う教育やルールをつくる必要があると思うが、市の取り組みについて伺う。

**部長** 市では、インターネット利用における問題点を認識し、正しく利用する能力の育成と、各家庭においてインターネット利用のルールづくりが必要なことを理解していただくことを目的に、富士山まちづくり出前講座で携帯電話、インターネット環境講話を実施している。実施後のアンケートでは、親と相談して良いルールを決めることや、家族みんなでルールを決めて安全に使うことなど、ルール設定の必要性を訴える感想を多数いただいている。

## 東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウンの取り組み状況について



わかばやし しづこ  
**若林 志津子** 議員  
(日本共産党議員団)

## 加齢性難聴の方への補聴器購入補助を要望

**問** 高齢者の約3割の方が加齢性難聴になると言われていて、難聴になると家族や友人との会話が少なくなり、会合出席や外出の機会が減り、コミュニケーション障害が起こると言われている。厚生労働省も難聴は認知症の危険因子の一つとしている。全国で実施している補聴器購入の補助制度を要望するがいかがか。

**部長** 加齢性難聴が認知症の危険因子の一つと認識している。今後、補聴器の加齢性難聴に対する有用性が認められるか、または研究の成果が出れば、補聴器購入助成や補聴器を製造する企業に対する支援について、厚生労働省による検討次第では社会保障制度の観点からやらなければならないものと思われ、今後、国の動向を注視したい。

**問** ホストタウンとして、富士宮市を挙げて、チームの歓迎等とおもてなしをどのように行っていくのか伺う。

**部長** スペイン空手道連盟関係者の市内視察をはじめ、令和元年のスペイン空手チーム事前合宿においても、市と市民の皆様が一体となり歓迎し、おもてなしを行った。さらに多くの市民が出迎えに加わっていただけるものと期待しており、広報誌、ローカル紙、ホームページなどを通じ、市民参加を呼びかけていく。

## 働き方改革、休み方改革について

**問** 市職員が積極的に産休や育児休暇を取ることによって、一般企業にも制度が浸透することが期待できると思うが、いかがか伺う。

**部長** 市では労働基準監督署やハローワークなど関係する機関と連携し、働き方改革について企業への周知を行うとともに、企業の人事担当者等を対象にセミナーを実施するなど、その浸透を図っている。市内の大手企業をはじめ、全ての企業に浸透していくことを期待している。

## 災害時にファーストミッションボックスの活用を提案する

**問** ファーストミッションボックスとは災害時、最初に集まった人たちが迅速に的確な初動対応が行えるよう、やるべき任務を書いた指示書と最低限必要な事務用品を一つの箱にまとめた物。誰が来てもできる仕組みとなっている。

**部長** ファーストミッションボックス相当のものは、災害対策を迅速に進めるために必要であると認識している。避難所開設セットは避難所開設を行う職員向けになっているため、誰でも使用しやすいように検討していく。

## LGBTの方々に配慮した公的書類改善の取組はどこまで進んだのか

**問** 公的書類から不必要な性別欄をなくすよう提案したが、その後の取組状況は。

**部長** 印鑑登録証明書は性別欄をなくした。この間、関係各課と協議してきた。全庁各部署で様式の洗い出しを行い、令和2年度から各部署で修正できるものから順次対応していく。

# 一般質問



わたなべ よしまさ  
**渡辺 佳正** 議員

(日本共産党議員団)

## 核兵器廃絶平和都市宣言をしている富士宮市の取組みについて

**問** 被爆地広島への中学生派遣事業の継続について、市長はどう考えるか。

**市長** 意義ある事業として今後も継続したい。修学旅行についても、学校長の判断で広島に行く場合は、補助金を出していきたい。

**問** 富士宮市の戦争史の調査研究にどう取り組むか。



▲平和の像 はばたき  
(富士宮駅南口)

**市長** 富士宮市史編さん事業の中で重要なテーマとして取り組む。

**問** 世界で唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約に署名・批准することについて、どう考えるか。

**市長** 人類を破滅に導くおそれのある核兵器と原発の排除は、私の政治信条である。日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准することは当然である。現在の状況を残念に思っている。

## 学校給食に地元食材の活用をさらに進めることについて

**問** 農協から富士宮産100%米の購入量を増やすなど、地元食材の使用率を高めるにはどうしたらよいか。

**部長** 富士宮産米の購入量を増やせるかどうか農協と相談したい。野菜など必要な量を納入してもらえるように、生産者の体制を整えていただくことも必要。

**問** 全国に誇る富士宮産100%牛乳の供給体制を維持発展させる取り組みは。

**部長** 新たな販売先など市場の開拓支援、ふるさと納税の返礼品としての活用、新商品ヨーグルトのPRなどに取り組んでいるが、さらに強めたい。



すずき ひろむ  
**鈴木 弘** 議員

(政経会)

## 令和2年3月で旧芝川町との合併10周年になるがそこで何う

**問** 国による財政措置である普通交付税の算定の特例(合併算定替え)は試算と同じように配分されたか何う。

**部長** 合併算定替えによる金額は全て算定されている。

**問** 村落の人口減少、コンパクトシティ、人手不足などと言われ不安を感じるが大丈夫か、市長に何う。

**市長** 人口減少、そしてコンパクトシティが叫ばれる中であるが、土地利用基本構想において「伝統・文化を引き継ぐ集落環境維持」を方針として掲げ、芝川地区、北部地区についての施策を展開してきた。これからも芝川地区を含む市民の皆様の幸せのためにまちづくりを進めていきたい。

**意見** 山村には豊かな自然がある。自然の資源を市の財産として活用できればと思う。新しい技術を使ってそれらの価値をよみがえらせることができ、山村地域とまちなかがつなげれば合併して本当によかったとなるではないかと思う。

## 富士川洪水浸水想定区域について

**問** 樋門(ひもん)が閉じられた後、降雨量が増せば内水被害が発生する。その場合の対策は。

**部長** 国土交通省の排水ポンプ車の派遣要請が考えられる。また現在富士川の河川管理者である国において排水作業計画を作成中であり、令和3年度出水期までに公表予定と聞いている。

## 裾野市のトヨタと連携したまちづくりについて

**問** 当市において現在まちづくりにおける企業との連携はあるか何う。

**部長** このような企業との連携の話はない。

**市長** 2020年以降、やっぱり夢のあるまちの構想を練っていくことが大事だと思う。



QRコードを読み取り、令和2年2月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



さの 佐野 議員  
あつし 孜 (富岳会)

## 活力や観光資源の宝庫としての西富士山麓

**問** ①現存する観光施設の発展の指導や助言。これからのバイオマス発電施設のあり方。②英訳された北部地域の伝説(富士物語)の再考。

**部長** ①自然公園法に基づき自然環境を保全し、富士山西麓地域観光連絡会議の国内外へのセールスで観光振興と地域の発展と協調策を進める。現存のバイオマス発電施設の公売は不調に終わったが、実証実験のノウハウを2000トン規模の処理能力のバイオマスプラント事業に活かしたい。

**教育長** ②英訳された富士物語は内容を確認し、校長会等の所定の会議で検討する。

## 地域の中心になる白糸会館の建設計画と理念

**問** ①地域の象徴としての役割。②隣接する神代杉館に存在する神代杉の取扱い。

**部長** ①大空間の設置、気候・風土への配慮、施

設の長寿命化の観点から、鉄筋コンクリート造りとなり、内装は県内産の木材を使用する。外観は山々の連なりと白糸の滝をイメージした。

②全国的にも珍しく完全な形で発掘された樹齢606年の杉の巨木であり後世に残す方針で検討。

**市長** 白糸(神代杉)の歴史は富士宮の歴史として捉え展示方法や場所についても検討する。

## 子ども子育て支援事業と学校教育環境の整備

**問** ①新型コロナウイルスに対する放課後児童クラブや保育園、幼稚園、小中学校での対策。

②いじめ・不登校児童生徒に対する支援事業。

**教育長** ①学校保健安全法関係法令及び保育園における感染症対策ガイドラインに準拠し出席停止、臨時休業等の対応を実施予定。また、マスク、手洗い、うがい、噴霧器、加湿器の設置等感染予防に取り組み、国の最新情報にも注視。②青少年相談センター適応指導教室や富士市の一般社団法人サン・ヴィレッジ適応指導教室アルファードと連携し、学校復帰や社会復帰を目指す。



いなば こうじ 稲葉 晃司 議員  
(蒼天)

## 富士宮市立病院の現状について ～地域医療を守るために2020～

**問** 令和2年度、常勤医が減少する内科、外科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科ではどのような影響がでるのか。

**病院長** 耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科については、診療、病院の収益に関してはほとんど影響が出ないと考えている。ただ、消化器内科の医師が2人減となることについては影響がでると考えられることから、外来予約等の縮小も考えている。令和元年度、伊東市の胃カメラの健康診断を受け入れ収益増を凶っているが、令和2年度は全体として少しマイナスになる可能性はある。外科についても乳腺を専門とする外科医が常勤から非常勤になることから診察する患者数が減少すると考えられる。

**問** 常勤医が増加する泌尿器科、整形外科、小児科、皮膚科はどのようになるのか。常勤医が増加することにより手術への対応等はどの程度改善されるのか。

**病院長** 泌尿器科は令和2年4月より医師が1人派遣されることから外来、手術ともに今まで以上に件数の増加が見込めると期待している。整形外科に派遣される医師は、育児中の女性医師であることから日勤帯のみの勤務となるが、手術に加えて外来や昼間の救急対応を行う人数が確保され、手術中のために受け入れが困難であった患者さんへの対応が可能となり、その分外来や手術の件数増を見込めると考えている。さらに、小児科は4人から5人体制、皮膚科は2人から3人体制になることから今まで以上に様々な症例に対応できると考えられ、特に皮膚科は形成外科を志している医師が赴任することから、従来の患者に加え、より多くの疾患の診察が可能になると期待できる。



QRコードを読み取り、令和2年2月定例会を選択すると総括質疑が視聴できます。

## 令和（れいわ）

なかむら けんいち  
(中村 憲一 議員)

### 後藤新平の気宇壮大な思いについて

**問** 後藤新平の「金を残して死ぬのは下だ。事業を残して死ぬのは中だ。人を残して死ぬのが上だ。」という名言を受けて、須藤市政は後世の富士宮に何を残すのか。

**市長** 後藤同様、人を育てることが後世の富士宮市に残す大事な仕事である。時には断じて行うこともあるが、一切言い訳はしない。言いたい者には言わせて、にっこり笑って受け止める。私の市政運営の評価は、後世の人に委ねる。

### 都市計画道路田中青木線について

**問** 県道三沢富士宮線以北、以南の事業認可の区分、着手、着工、完成の予定はいかがか。

**部長** 以北を県施行、以南を市施行とし、県と市が分かれて認可申請を行うが、概ね同時期に事業認可取得ができるよう早期に手続に着手。着工及び完了の予定は、国の補助金交付状況や事業用地

の取得進捗状況により明確に示せないが、早期事業完了を目指す。

### 本市が世界の多くの人知っている日本のシンボル“富士山”のあるまちについて

**問** 山梨県側では富士山登山鉄道構想検討会が設置される等、環境にも配慮し合理的に富士山の恵みを楽しんでいると感じるのはいかがか。

**部長** 静岡、山梨の両県から構成される富士山世界文化遺産協議会の学術委員会では、この構想について根本的な問題が多く残るとし、慎重に検討するよう山梨県に求めている。本市としては、世界遺産富士山に登山鉄道敷設は反対。

### （仮称）富士宮市立郷土史博物館について

**問** 今、設置を構想する理由は。ゼロベースとのことだが、意中の建設候補地は示せないのか。

**部長** 富士宮市の歴史資産の解説の充実が必要と判明したため、世界遺産登録10周年である令和4年度の開設を目指す。白糸自然公園内や富士山さくらの園周辺の市街地等可能性を検討。

## 政経会（せいけいかい）

つじむら たける  
(辻村 岳瑠 議員)

### 気宇壮大な思いはこのまちをどう変えるのか

**問** 市長は後藤新平の気宇壮大な思いを自らに重ねられたが、富士宮をどう変えていきたいのか伺う。

**市長** 後藤新平は、地域の発展に重点を置き、都市の構想について人間の生活を中心に考える人であった。まだまだこのまちは良くなる、このまちを何とかして良くしていきたい、品格のあるまちづくりを進めたいという思いは、地域の発展に重点を置いた、後藤新平の考え方と重なるとともに、先見性をもとに新しい政策を打ち立てるまちづくりにかける思いは、私の信念と相通ずるものがある。これまで先人たちが築いてきた歴史や文化、そして伝統を受け継ぐとともに、次世代に確実につないでいくための様々な取組を実施することで、富士山に恥じない品格のあるまちとなるように、富士宮市をさらに良くしていきたい。

### インバウンド策について

**問** スペイン国内では、富士宮市の認知度が高まっているようである。スペインに対してインバウンド策は考えられないか伺う。

**部長** これまでの活動でスペイン国内では当市の認知度は高まってきていると感じている。市のオリンピック・パラリンピックプロジェクトチームと観光PR配信の検討をしている。

### 無電柱化で魅力ある地域づくりについて

**問** 本市が掲げる富士山の魅力を発揮した快適なまちづくりの中で無電柱化事業について伺う。

**部長** 無電柱化推進計画では、無電柱化の目的である防災、交通、景観、観光などへの効果や、用地の確保、費用対効果等も含めて、総合的に判断し効率的に無電柱化を実施する。場所については計画の策定過程において具体化を図っていく。



⇒市長が行った施政方針と令和2年度予算案の大枠に対して、各会派から選ばれた1人の議員が質疑を行うことです。

にほんきょうさんとうぎいんだん  
**日本共産党議員団**  
わかばやし しづこ  
(若林 志津子 議員)

**問** 「新たなギアチェンジ」とはギアを上げることなのか、下げることなのか。これからの人口減少を考えたとき、発展よりは、縮小の考えを持つべきでは。

**市長** もちろんギアを上げること。人口減少等への影響は十分認識している。将来にわたって活力あるまちを維持していくため、安心して結婚・出産・子育てができる社会構築や安全安心な暮らしのためにやることは山積している。前向きな気持ちという意味のギアを上げていく。

**問** 「あらゆる分野における女性の社会参加を促進」とあるが、具体的な取組は。

**部長** イベントや講演会、セミナー、シンポジウムなどにより、誰もが活躍できるまちを目指して啓発を行っている。

**問** 廃プラスチックの対策を考えているか。国からの指標は示されているのか。

**蒼天 (そうてん)**

えんどう ひであき  
(遠藤 英明 議員)

**問** 消費税増税後に落ち込んだ日本経済に新型コロナウイルスが追い討ちを掛けリーマンショックを超える不況が予測されるが、富士宮市にどのような影響を及ぼすと考えるか。

**部長** 外需中心の製造業に影響が出始めている。部品の代替等サプライチェーンの見直しが検討されていると報告を受けている。

**問** 富士山噴火リスクに伴う改訂版ハザードマップの国・県との協議進捗状況はいかがか。また、ハザードマップを市民に示すのはいつか。

**部長** ハザードマップ検討状況説明会で溶岩流の到達時間等シミュレーションを行っている。ハザードマップの完成は令和2年度末を予定。

**問** 下水道事業の公営企業会計導入の機会に上水道との統合は考えられないか。

**部長** 事務部門を統合することは可能。業務の集約のメリット等勘案し検討していきたい。

**部長** 市はふじのみや地球温暖化対策地域協議会、民間事業者との三者で協定を結び、マイバック運動、エコキャップ回収に取り組んでいる。また、国の指標については、プラスチック資源循環戦略で2030年までに使い捨てプラスチックを累積25%排出抑制するよう示された。

**問** 上下水道事業で今後も市民の大切な財産である水を、企業の使命である利益追求の道具にさせないとの考えは。

**部長** 平成31年2月定例会の一般質問で「公営で運営していく」と答えたとおりであり、現在も変わっていない。下水道事業も同様である。

**問** 「高齢者をたたえる気持ちを持つ事も大切」とあるが、「高齢者を大事にする」新たな施策なり、市民へのPRなど考えているのか。

**部長** 敬老会を実施する自治会に交付金を出している。市内最高齢者の男女及び100歳の方を訪問しお祝いする長寿祝金がある。希望があれば新聞等に掲載され事業の周知になっている。

**問** 台風15号による倒壊電柱は甚大な被害となった。救援活動や通行の妨げにもなる。そこで無電柱化を図るべきと考えるが、いかがか。

**部長** 無電柱化に係るあらゆる要素を総合的に整理し、無電柱化を効果的、効率的に進めるための実現可能な計画として考える。

**問** 市内中学生の被爆地広島への派遣は、核廃絶を訴えるも核兵器禁止条約に背を向ける日本政府の立ち位置に、何を学ばそうとするのか。

**部長** 現在、当市が取り組んでいるSDGsの中の「平和と公正をすべての人に」目標に合致するもので、持続可能な社会を実現するため、自らの問題として主体的にとらえ、取り組む学習、教育活動につながると考える。

**問** 地方自治体も常に改革・変革を求められる、経済財政改革にどのような方針で臨むか。

**部長** 第5次総合計画後期基本計画を策定中、特に人口減少・少子高齢化対策やSociety5.0\*への対応など課題としている。

\*仮想空間と現実空間を融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)。狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を指すもの。

## 富岳会 (ふがくかい)

もちつき のりお  
(望月 則男 議員)

### 富士山の麓から創造力と活力がみなぎるまちづくり

**問** 自然に囲まれたライフプランの提案をすることで、工場のみならずIT関連企業のデータセンターなどを設置することで多くの雇用創出、移住・定住策が可能と考えられるが。

**部長** IT関連企業のデータセンターなどの設置については、市経済の活性化及び雇用の創出等への影響が期待できるため、製造業の工場と同様に誘致を図っていく。

### 同報無線アナログからデジタルへの切り替え

**問** 同報無線のアナログからデジタルに切り替えている中で、聞きづらいという声に対して、いま一度調査することを要望する。

**部長** デジタル放送の特性で、アナログ放送より1秒遅れて放送されることから、デジタル放送とアナログ放送の両方の音声聞こえるエリアで

は、放送が1秒ずれて重なって聞こえることにより、聞こえづらいことがわかった。この現象については、令和2年度に同報無線子局全デジタル化により市内全域で解消される。

### これからの教育について

**問** 我々40代から50代の世代の両親は、高度経済成長の中、生活して来たが、我々世代でこれほどの格差が広がるということは想定していなかったと考える。だからこそ、今の子ども世代の教育から変えなくては、所得格差など解決できないと考えるがいかがか。

**教育長** これからの教育においては、予測不可能な様々な課題に対し、知識・技能を有効に活用し、思考・判断しながら、他者と協働して解決していく力を重視していく。これらの資質・能力を全ての子どもにつけていくことが、これからの社会で活躍することができる力をつけることになり、それが所得格差をなくしていくことにつながっていくことになると思う。

## 芙蓉 (ふよう)

の もと たかゆき  
(野本 貴之 議員)

### 令和2年度施政方針について市長に伺う！

**問** 政策の優先順位のつけ方について市長の考えを伺う。

**市長** 優先順位の判断は第5次総合計画の3つの重点取組が重要な要素。さらに市民ニーズや社会経済環境、部局の要望、特定財源等があるか、事業の必要性や妥当性、また緊急性や有効性等の視点も含め総合的に判断していきたい。

**問** 日本語の案内看板を自動翻訳機などで分かりやすく通訳できるように看板の伝え方の工夫や見直しに取り組んではどうか。

**部長** やさしい日本語を取り入れ、「水垢離場(みずごりば)」のような難しい言葉をできる限り簡単な言葉で紹介できるように案内看板の伝え方の工夫や見直しを検討したい。

**問** 学校のICT利活用推進を伺う。

**教育長** 令和元年度は市教育情報化推進基本計画

第2期について検討を進めていく。ICT機器は不可欠なので、タブレット等の端末の増設、校務支援システムなどの教育の情報化等について考えていきたいと思う。

**問** 公園サポーター制度の導入やトイレのネーミングライツについて考えを伺う。

**部長** 公園愛護活動を導入し、団体と協定を締結している。今後企業などへの働きかけや制度の推進を図るために、協力いただいている公園に団体名や制度を周知PRする看板の設置などについて検討する。ネーミングライツについては研究していきたい。

**問** 経常的経費の増加の改善や取組みは。

**部長** 今後も徹底した事務事業の見直しや事業の選択と集中を図り、経常経費の増加を最小限に抑え、限られた財源を有効かつ効果的に活用することが重要であると強く感じている。





QRコードを読み取り、令和2年2月定例会を選択すると  
総括質疑が視聴できます。

## 公明会 (こうめいかい)

さいとう かずふみ  
(齋藤 和文 議員)

### 市政運営の基本的姿勢について

**問** 新型コロナウイルス等流行疾病に対してどのような備蓄、物資応援協定を考えているか。

**部長** 備蓄品としてマスクがあるが、現在供給不足であることから災害等を含めて新型コロナウイルス対策に必要な数量を想定し、備蓄の検討に入る。

**問** 高齢者運転免許証返納補助制度の補助券発行数に対する使用率と現金支給については。

**部長** 交付人数1932人で100円券を50枚交付、発行枚数9万6600枚。使用枚数2万2739枚で、使用率は23.54%である。

### 令和2年度重点施策について

**問** 今後教科書はデジタル教科書へと移っていくのか。紙の教科書は無くなるのか。

**教育長** デジタル教科書の使用基準では、各教科授業時数の2分の1に満たないこととしており、使用が制限されている。また、児童生徒が紙の教

科書も使用できるように求められている。

**問** 青少年相談センターの夜間開設について。

**部長** 夜間相談は相談者の必要性に合わせた相談しやすいセンターとして実施。開設日時は、月2回、第2・4水曜日を基本とし、夏休み最後の日、2学期最初の日も開設し、相談時間は24時までとする。体制は、電話相談と対面式であり、SNSには対応できない。メールによる相談はしていく。

**問** 国道469号の整備促進状況と今後の展望について。

**部長** 国道469号とは御殿場市国道138号から山梨県国道52号に至る幹線道路。市内では平成29年3月に山宮バイパス完成、山宮や北山本門寺前で交通安全対策の歩道整備がされた。令和元年度は、北山郵便局前の県道交差点改良工事中である。今後の展望は、県では元年度から精進川地区2kmの地形測量や道路線形の検討開始、拡幅整備を優先実施すると聞いている。

## 政務活動費・議長交際費

### ●政務活動費とは

地方自治法の規定に基づき条例で定められ、議会の監視機能強化や政策立案能力向上を図るため、視察調査をはじめ、資料作成・資料購入・研修参加など、議会活動へ活用しています。当市議会では、1人当たり年額30万円が会派に交付され、年度末の残額は市に返還しています。

令和元年度 会派別 政務活動費 使途内訳

項目	日本共産党 議員団	政経会	富岳会	令和	公明会	蒼天	芙蓉	合計
所属議員 (H31.4.1現在)	2人	5人	5人	3人	3人	2人	2人	22人
所属議員 (R2.3.31現在)	2人	5人	5人	3人	2人	2人	2人	21人
交付決定額 (A)	600,000円	1,500,000円	1,500,000円	※600,000円	764,475円	600,000円	600,000円	6,164,475円
決算額 (B)	177,226円	567,368円	459,850円	598,612円	688,196円	64,445円	583,041円	3,138,738円
差引返納額	422,774円	932,632円	1,040,150円	1,388円	76,279円	535,555円	16,959円	3,025,737円
交付額に対する 執行率 (B/A)	29.5%	37.8%	30.7%	99.8%	90.0%	10.7%	97.2%	50.9%

※中村憲一議員は、申し出により政務活動費の交付申請を辞退。

### ●議長交際費とは

議会の対外的な活動をするため、議長が議会を代表して外部の個人や団体との交際や交渉に要する経費で、社会通念上妥当な範囲で必要最小限の支出に努めています。年間予算額は70万円です。

※政務活動費や議長交際費の内容について、詳しく知りたい方はHP等で閲覧できます。

## 今後の定例会の開催日

### 【6月定例会】

6月23日(火)～7月9日(木)まで開催予定

傍聴については、今後の新型コロナウイルス感染症対策により控えていただく場合があります。

- ◆日程は変更になる場合があります。間近になりましたら市議会事務局にお問い合わせください。
- ◆市議会ホームページから確認できます。

## あなたの声をおまちしています

- 議会での質疑応答や議会だよりの内容など、ご意見・ご質問をお寄せください。
- 議場傍聴席のアンケート用紙、郵便、メールなどでご意見を受け付けています。

アンケート用紙→傍聴席のアンケート回収箱に  
郵便→〒418-8601  
富士宮市弓沢町150番地  
メール→c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp



## 議会を「ネット」でみよう！

本会議のインターネット映像を配信しています。「録画映像」と「ライブ中継」の2種類です。右のQRコードからインターネット中継・会議録検索システムが『スマホ』や『タブレット』からも見られます。

※インターネット中継の配信内容は、公式記録ではありません。



富士宮市議会

検索

【令和元年度視聴実績】

■録画映像・・・6,673件

■ライブ中継・・・11,229件

## 野本 貴之 委員長のコメント

令和の御代にふさわしい議会だよりを目指し、委員全員で一丸となって取り組みました。初当選の新人議員3名が加わり、より市民感覚の身近な視点で製作につながったと思います。市民の皆様にも市民の声コラムに登場していただき、親しみのあるコーナーとして好評を頂きました。今後も新しい編集委員会のもと更に読みやすく、おもしろい議会だよりを目指して頑張りたいと思います。1年間ありがとうございました。



▲議会だよりに編集委員会  
換気して、座席の間隔を空けて開催

## 編 集

市民の負託を受けた議員の発言や議会の判断を、市民の皆さんに正確に伝えるのが議会だよりの使命です。

議会とは、時には当局と厳しく対峙し、時には当局と連携して事業に取り組めます。今は、戦後最大の困難とも言われる新型コロナ危機を乗り越えるために、議会と行政が一丸となって取り組んでいるところです。こういった危機だからこそ、議会の姿勢を皆さんに伝えていく議会だよりの役割が一層大切だと感じています。

議会だよりに編集委員会副委員長 渡辺 佳正

## 後 記

令和元年度の議会だよりに編集委員会の活動を通して、1番大きな変化は、市民の声のページが始まったことであるように思います。しかし残念なことに、6月1日発行号では市民の声のページが掲載されなくなってしまいました。これは新型コロナウイルスの影響が大きな要因であります。早く今の事態が終息して、市民の声のページが再開される事を願うばかりであります。

議会だよりに編集委員会 稲葉 晃司